

“押入れに眠っている楽器はありませんか”

NHKジャズオーケストラ・クラブでサクソ担当の吉田博志です。10月の旧友会50周年記念総会演奏では懐かしい多くの皆さんに再会できて充実した楽しい時間でした。



会員の皆さんに、お願いがあり投稿します。6年前から、趣味のサクソを通じて知り合った岩井光祐さん(写真中央)が代表を務める「AIMEC」(アイメック)というNPO法人の活動のお手伝いを始めました。今年7月に神奈川県から認可されたばかりのNPO法人で、活動内容は、「いまだ貧困にあえぐ国のこどもたちに楽器を贈る」というものです。

そこで、お願いなのですが、皆さんのお宅に、その目的を終えた「鍵盤ハーモニカ」や「リコーダー」などが眠っていたら、いま一度活躍の場としてAIMECの活動のためにご提供願えないでしょうか。

AIMECとして、今年の夏にモンゴルの盲学校に楽器を届けました。年明けの3月にはアフリカのウガンダとタンザニアに楽器を届ける予定にしています。(AIMECホームページ <http://aimec-jp.org>)

右の写真は神奈川県南足柄市にあるAIMEC本部で、本年10月にその任を終えて帰国したウガンダのエディス参事官(写真中央)の送別会の時のものです。エディスさんは帰国後、AIMECの名を冠した音楽学校を開設する事にしており、AIMECとして、その活動に協力を約束しており、その意味では、鍵盤ハーモニカやリコーダーに限らず、眠っている楽器がありましたら寄贈をご検討していただけたらと思う次第です。楽器寄贈の手続き手順については下記URLをご覧ください。
<http://aimec-jp.org/donation-flow/>



下の写真は、2015年7月に、岩井さん個人がウガンダに楽器を届けた時の、現地での寄贈式典の様です。非常に多くの児童、関係者が参集して活動の意義をよく物語っていると思います。先述しましたが、3月には2度目のウガンダ、タンザニア訪問を計画しております。AIMECは日頃の「楽器収集活動」

外国の子どもたちが世界の共通語である音楽を通して交流し、相互の理解と友好関係を推し進めることにより、世界平和の進展に寄与することを目的に活動しています。



2015年7月 ウガンダ

の延長として緊急自動車の寄贈活動も行っており、南足柄市から寄贈されることが決まっている消防自動車を楽器とともにウガンダに届けることにしており、その寄贈セレモニーも行う予定になっています。

AIMECの設立主旨に「次代を担う世界の子どもたちに楽器を贈り、笑顔を増やしていきたいと思う。世界の子どもたちを大切に思うことは日本の子どもたちの将来にとっても重要なことです。」と記しています。私も、微力ながらこのAIMECの活動に協力していこうと考えていますので、皆さんのお力添えを願えばこれに勝る喜びはありません。

吉田 博志

昭和47年NHK入局。札幌・釧路・本部で主に編成・経理担当勤務の後2009年に退職。NHK交響楽団を経て2014年よりNEP勤務。AIMEC理事
(メールアドレス yoshida.hrs@aimec-jp.org)